

ふじのくにの「大路」をあそぶ

「大路」とは国を支える基盤となる道のこと。東名、新東名、伊豆縦貫道、中部横断自動車道、三遠南信自動車道など静岡県内を巡る道を、ここでは「大路」と称し、それらを利用した「ふじのくに」の様々な魅力を紹介する。



※点線は整備中

西大路〔三遠南信自動車道〕編

伝説と伝承を訪ねて

三遠南信自動車道は、長野県飯田市山本から静岡県浜松市北区引佐町へ至る延長約100kmの高規格幹線道路。山間を貫く全線が開通すれば、中央自動車道と新東名高速道路がつながり、地域間の連携や沿線の発展が期待される。現在は愛知県新城市名号にある「鳳来峡IC」から浜松市北区引佐町の「浜松いなさジャンクション」が平成24年に開通し、新東名と接続している。

奥深い山間部を通る三遠南信自動車道周辺には、数多くの伝説や伝承が伝わる。735年、行基によって開創され、後に井伊直弼を輩出した井伊家の菩提寺となった「龍潭寺」。川が山間を縫うように流れる天竜川水系の河川と街道が交差する歴史文化が生んだ「龍王権現の滝」に代表される数々の伝説。中央構造線の破砕帯であり、武田信玄の隠れ道として知られる「青崩峠」。南北朝時代に築かれた山城で、後に武田氏によって修築された「高根城跡」などだ。紅葉の名所として知られる「白倉峽」も見応え十分。濃密な歴史に包まれた西大路の旅は、美しい自然も満喫できる史跡の道だ。

沿道を彩る歴史と不思議！



1 白倉峽

浜松市天竜区龍山町にある深谷。周囲には全長約1kmの遊歩道が整備され、深谷が織り成す巨石や滝などを鑑賞することができる。



2 青崩峠

浜松市天竜区と長野県飯田市の間にある標高1,082mの峠。林道を使って峠まで登ることができる。この道は「塩の道」とも呼ばれる。



3 龍王権現の滝

浜松市天竜区佐久間町にある10mを超える絶壁に囲まれた落差6mの滝。遊歩道が整備され、「龍王ごんげん様」をはじめとした民話がかかれた看板が設置されている。



4 龍潭寺

小堀遠州が築いた龍潭寺の庭園。国の名勝に指定されている。浜松市北区引佐町井伊谷。寺の周囲には縄文・弥生の古墳も数多く残る。



5 高根城跡

浜松市天竜区水窪町地頭方、久頭合の山頂にある山城跡。井楼櫓、主殿、城門などが復元されている。市指定史跡。



6 川名のひよんどり

浜松市北区引佐町川名にある福源寺薬師堂で毎年1月4日に行われる祭礼行事。五穀豊穡、子孫繁栄、家内安全を祈願した松明と若者のもみ合いが有名。室町時代から伝わる田楽能を主体とした舞も行われる。国指定民俗文化財。

